

目次

| | |
|---------------------------|-------|
| 安全のために ----- | 1 |
| 注意事項 ----- | 2 |
| LCD モニタに関する特別な注意 ----- | 3 |
| モニタを操作する前に ----- | 3 |
| 機能 ----- | 3 |
| 梱包の内容 ----- | 3 |
| 取り付け指示 ----- | 4 |
| コントロールとコネクタ ----- | 5 |
| 表示角度の調整 ----- | 6 |
| 操作上の指示 ----- | 7 |
| 一般的な操作 ----- | 7 |
| 設定の調整方法 ----- | 9 |
| 画像の調整 ----- | 10-11 |
| プラグアンドプレイ ----- | 12 |
| 技術サポート(FAQ) ----- | 13-14 |
| エラーメッセージおよび考えられる解決法 ----- | 15 |
| 付録 ----- | 16 |
| 仕様 ----- | 16-17 |
| 工場プリセットのタイミング表 ----- | 18 |
| コネクタピンの割り当て ----- | 19 |

モニタを操作する前に、本書をよく読んでください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

FCC 暮らす B 無線周波数障害声明

警告: (FCC 公認モデル用)

注: 本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお勧めします。

1. 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
2. 本装置と受信機の距離を離す。
3. 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
4. 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

通告:

1. FCC 準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。
2. 放出制限に従うために、シールドされたインタフェースケーブルと AC 電源コードを使用しなければなりません。
3. 承認されていない変更や改造に伴うラジオ、またはテレビの電波障害に関しては、メーカーは責任を負いかねますので、それらの障害につきましては、お客様の責任において修理を行ってください。

当社は ENERGY STAR® のパートナー企業として、本製品がエネルギー効率に関する ENERGY STAR® のガイドラインに準拠していることを宣言いたします。

警告:

火災や感電の原因となるので、モニタを雨や湿気にさらさないでください。モニタの内部は高電圧ですので、キャビネットは外さないでください。内部の点検や修理につきましては、専門技術者にお問い合わせください。

安全上の注意事項

- モニタを水気のあるところ、例えば浴槽、台所の流し、洗濯機、水泳プール、水場のそばで使用しないでください。
- モニタをぐらぐらするカート、台、テーブルの上に置かないでください。モニタが落ちて、怪我をしたり、装置がひどい損傷を被ることがあります。メーカーの推奨するカートや台、またはモニタに付属するものだけを使用してください。壁や棚にモニタを取り付ける場合は、メーカーが承認する取り付けキットを使用し、キットの取り付け指示に従ってください。
- モニタは、ラベルに指示されているタイプの電源装置以外には使用できません。家庭に供給されている電源のタイプが分からない場合、販売店または電力会社にお問い合わせください。
- モニタには、三番目のアース用ピンの付いた、三又のアース用プラグが付属しています。このプラグは、安全のためにアースされたコンセントにだけ適合します。お使いのコンセントが三芯プラグに対応していない場合、電気技術者に正しいコンセントを取り付けてもらうか、アダプタを使用して装置を安全にアースしてください。アース用プラグを抜いて、アースされたプラグの安全性を無効にしないでください。
- キャビネットの背面と底面のスロットや開口部は、通気のために設けられています。モニタの信頼できる操作を確実にし、モニタの加熱を防ぐために、これらの開口部を塞いだり覆ったりしないでください。モニタをベッド、ソファ、ラグ、または同様の面に置かないでください。モニタをラジエータや熱レジスタの傍または上に置かないでください。適切な通気がない場合、本箱やキャビネットの中にモニタを設置しないでください。
- 雷が鳴っているときや、長期間使用しない場合は、プラグを抜いてください。これで、サージ電流による損傷からモニタが保護されます。
- 電線と延長コードに過負荷をかけないでください。過負荷をかけると、火災や感電の恐れがあります。
- モニタのキャビネットのスロットに異物を入れないでください。回路部分がショートして、火災や感電の原因となります。モニタには絶対に水をこぼさないでください。
- 自分でモニタを修理することはおやめください。カバーを開けたり取り外すと、高電圧やその他の危険にさらされることとなります。修理については、専門技術者にお問い合わせください。
- 満足のゆく操作性を確保するために、モニタは **UL 指定**を受けたコンピュータでのみ使用してください。これは、**100 - 240V AC, Min. 5A** の間でマークされ、適切に構成されたコンセントを搭載しています。
- 装置はコンセントのそばに取り付け、すぐに電源プラグを抜けるようにしてください。
- **UL, CSA 指定**を受けた付属の電源アダプタ(出力 12Vdc)だけを使用するようにしてください。

LCD モニタに関する特別な注意

以下の症状はLCDモニタには正常の状態、故障ではありません。

- 蛍光灯の特性により、初めて使用する場合画面がちらつくことがあります。電源スイッチをオフにしてから再びオンにし、ちらつきが消えることを確認してください。
- 使用するデスクトップのパターンによっては、画面の明るさに多少のむらが出る場合があります。
- LCD画面は99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。
- LCD画面の特性により、同じ像が何時間も表示されているとき、画像を切り替えた後に前の画面の残像が残っている場合があります。この場合、画像を切り替えたり電源スイッチを数時間オフにすることによって、画面はゆっくりと元の状態に戻ります。

モニタを操作する前に

機能

- 43.2cm(17") TFT カラー LCD モニタ
- Windows 対応のくっきりした、鮮明な表示
- **推奨解像度: 1280 X 1024 @60Hz**
- EPA ENERGY STAR®
- エルゴノミクス設計 (TCO'99 公認)
- デュアル入力(DVI + アナログ) (デュアル入力モデル)
- 省スペース、コンパクトな設計

梱包の内容

梱包の中には、以下の付属品が含まれています

1. LCD モニタ
2. ユーザーズマニュアル
3. 電源コード
4. 15 pin D-Sub ケーブル
5. DVI ケーブル (デュアル入力モデル)
6. 外部アダプタ
7. オーディオケーブル

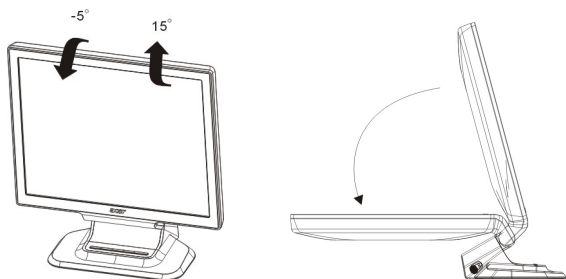
電源コード

電源:

1. 電源コードが、お住まいの地域で要求されている正しいタイプのものであることを確認してください。
2. この LCD モニタには外部ユニバーサル電源装置が装備され、100/120V AC および 220/240V AC 電源地域で操作することが可能になっています（ユーザーの側で調整する必要はありません）。
3. 電源コードをお使いの LCD モニタの電源入力ソケットに接続してから、もう一方の端を 3 ピン AC コンセントに差し込みます。電源コードは、LCD モニタに付属する電源コードのタイプに応じて、コンセントまたは PC の電源出力ソケットに接続することができます。

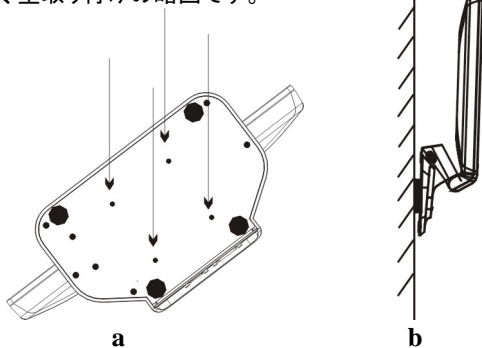
選択または購入した壁マウントブラケット(別売)を固定する

このディスプレイは、壁マウントブラケット(別売)に接続できます。次の図を参照して、ブラケットを電源とケーブルから取り外し、ディスプレイを折り畳みます。



壁マウントブラケットを固定するには、次の手順に従います。

1. 壁マウントブラケットをモニタ下部に当て、ブラケットの穴を通してモニタの下部に取り付けます。図 a で示すようにブラケット(7.5cm X 7.5cm)を取り付けます。
2. 4 本のネジを穴に差し込んで締め付けます。
3. ケーブルを再び接続します。壁にモニタを固定する方法の詳細については、ご購入された壁マウントブラケットに付属のユーザーズマニュアルをご覧ください。(本製品は、壁マウントブラケットに付属しておらず、別売です。)
4. 図 b は、壁取り付けの略図です。



コントロールとコネクタ

ケーブル接続

次の手順を実行する前に、コンピュータの電源をオフにしてください。

1. 電源アダプタの DC ケーブルをモニタ背面の DC インポートに接続します。
2. 15 ピン D-Sub ケーブルの一方の端をモニタ背面に接続し、もう一方の端をコンピュータの D-Sub ポートに接続します。
3. (デュアル入力モデル) 24 ピン DVI ケーブルの一方の端をモニタ背面に接続し、もう一方の端をコンピュータの DVI ポートに接続します。
4. オーディオケーブルをモニタのオーディオ入力と PC のオーディオ出力 (緑色のポート) に接続します。
5. モニタの電源ケーブルを手近のコンセントに差し込みます。 電源コードのもう一方の端を電源アダプタに差し込みます。
6. モニタとコンピュータの電源をオンにします。

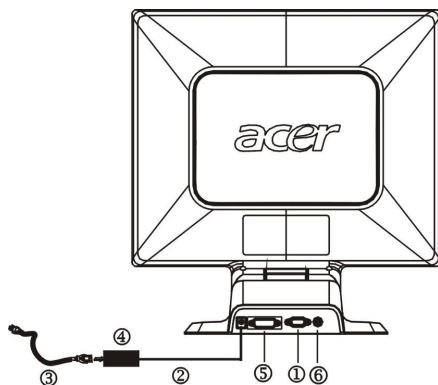


図 1 ケーブルを接続する

| | | | |
|----|----------------|----|-----------|
| 1. | D-Sub ケーブル | 4. | 外部接続用アダプタ |
| 2. | DC-ジャックの電源ケーブル | 5. | DVI ケーブル |
| 3. | AC 電源コード | 6. | オーディオケーブル |

表示角度の調整

- 最適な表示結果を得るために、モニタを真正面から見ることをお勧めします。モニタの角度をお好みの角度に調整してください。
- モニタの角度を変更するときに、モニタが倒れたりしないように台をしっかり持ってください。
- モニタの角度は -5° から 15° まで調整できますが、その際モニタの後方への傾きが 15° を超えることがないようにご注意ください。 15° を超えると、モニタが傾くことがあります。

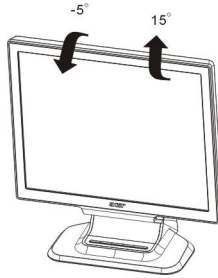


図 2

注：

- 角度を変えるときに、LCD 画面に触れないでください。LCD 画面が破損したり割れる恐れがあります。
- 角度を変えるときに、指や手をはさまないように十分お気をつけください。

操作上の指示

一般的な操作

電源ボタンを押してモニタの電源をオンまたはオフにします。その他のコントロールボタンは、モニタの上部パネルに配置されています（図 3 参照）。設定を変更することにより、画像は各ユーザーのお好みに調整することができます。

- 電源コードを接続します。
- モニタのビデオケーブルをビデオカードに接続します。
- 電源ボタンを押してモニタの電源をオンにします。電源インジケータが点灯します。



図 3 外部コントロールボタン

外部コントロール

| | |
|-------------------|----------------------------|
| 1. >/音量 | 4. MENU (メニュー) / 選択 |
| 2. </音量 | 5. Auto Config (自動設定) / 終了 |
| 3. 電源ボタン/電源インジケータ | |

フロントパネルコントロール

- **電源ボタン:**

このノブを押すとモニタの電源のオン/オフが切り替わり、モニタの状態を表示します。

- **電源インジケータ:**

青 — 電源オンモード。
オレンジ — オフモード。

- **MENU (メニュー) / 選択:**

OSD がオフのときはアクティブ OSD メニュー、または OSD がオンのときはアクティブ/非アクティブ調整機能、またはボリューム調整 OSD 状態に入っているときは OSD を終了します。

- **</音量:**

OSD がオフのときはボリュームコントロールを有効に、または OSD がオンのときは調整アイコン間を移動、または機能が有効になっているときは機能を調整します。

- **>/音量:**

OSD がオフのときはボリュームコントロールを有効に、または OSD がオンのときは調整アイコン間を移動、または機能が有効になっているときは機能を調整します。

- **自動調整ボタン / 終了:**

1. [OSD] メニューがアクティブ状態になっているとき、このボタンは EXIT-KEY として機能します。 ([OSD の終了] メニュー)
2. [OSD] メニューがオフの状態になっているとき、このボタンを 2 秒以上押すと自動調整機能がアクティブになります。
自動調整機能は、HPos (水平位置)、VPos (垂直位置)、Clock (クロック) および Focus (焦点) を設定するために使用されます。

注:

- ラジエータやエアダクトなどの熱源のそば、または直射日光にさらされる場所、ほこりの多いところ、機械の振動や電気の波動がある場所にモニタを据え付けしないでください。
- モニタを送り返すときに必要となる場合があるので、製品を梱包していた箱と梱包材料は捨てずに保管しておいてください。
- 製品を最大限に保護するには、工場で最初に梱包されたのと同じように梱包しなおしてください。
- モニタがいつまでも新品に見えるようにするには、柔らかい布で定期的に拭いてください。キャビネットの頑固な汚れは、弱い洗剤で軽く湿らせた布で取り除くことができます。シンナー、ベンジン、研磨剤などの強い溶剤はキャビネットを損傷することがあるので、絶対に使用しないでください。安全上の注意事項として、クリーニングする前には常にモニタのプラグを抜いてください。(但しパネルは絶対に拭かないでください)

設定の調整方法

1. [メニュー] ボタンを押して、OSD ウィンドウをアクティブにします。
2. < または > を押して、希望する機能を選択します。
3. [メニュー] ボタンを押して、調整したい機能を選択します。
4. < または > を押して、現在の機能の設定を変更します。
5. 終了して保存するには、終了機能を選択するか、他の機能も調整したい場合、同様に手順 2~4 を繰り返してください。



I. (アナログのみモード)



II. (デュアル入力モデル、アナログ信号入力)



III. (デュアル入力モデル、デジタル信号入力)

画像の調整

機能コントロールLEDの説明

| メインメニューアイコン | サブメニューアイコン | サブメニューアイテム | 説明 |
|-------------|------------|--------------|---|
| | | コントラスト | 画像のコントラストを調整します。 |
| | | 輝度 | 画像の明るさを調整します。 |
| | | フェーズ | 写真の焦点を調整します(この調整は、アナログ入力ソースの場合のみ有効です)。 |
| | | クロック | 写真クロックを調整します(この調整は、アナログ入力ソースの場合のみ有効です)。 |
| | | 水平位置 | 写真の焦点を調整します(アナログモードのみ有効です)。 |
| | | 垂直位置 | 写真クロックを調整します(アナログモードのみ有効です)。 |
| | 該当なし | 暖色 | 色温度を暖かい白に設定します。 |
| | 該当なし | 寒色 | 色温度を冷たい白に設定します。 |
| | | ユーザー設定/ 赤 | Adjusts 赤/緑/青の強度を著精します。 |
| | | ユーザー設定/ 緑 | |

| | | | |
|---------------------|------|----------------|--------------------------------------|
| | | ユーザー設定/ 青 | |
| | 該当なし | English | 多言語の選択。 |
| | 該当なし | 繁體中文 | |
| | 該当なし | Deutsch | |
| | 該当なし | Français | |
| | 該当なし | Español | |
| | 該当なし | Italiano | |
| | 該当なし | 简体中文 | |
| | 該当なし | 日本語 | |
| | | 水平位置 | OSD の水平位置を調整します。 |
| | | 垂直位置 | OSD の垂直位置を調整します。 |
| | | OSD 表示時間 設定 | OSD タイムアウトを調整します。 |
| (アナログ のみモデル) | 該当なし | 自動調整 | 水平/垂直 V 位置、焦点、画像のクロックを自動調整します。 |
| (デュアル 入力モデル) | 該当なし | アナログ | アナログから入力信号を選択します(D-Sub) |
| | 該当なし | デジタル | デジタルから入力信号を選択します(DVI) |
| | 該当なし | 情報 | 解像度、水平/垂直周波数、現在の入力タイミングの入力ポートを表示します。 |
| | 該当なし | リセット | 自動構成のそれぞれの古いステータスをクリアし、自動構成をやり直します。 |
| | 該当なし | 終了 | ユーザー調整を保存し、OSD は表示されなくなります。 |

プラグアンドプレイ

プラグアンドプレイ DDC2B 機能

このモニターには、VESA DDC 規格に従った VESA DDC2B 機能が装備されています。これによって、モニターはホストシステムにその身元を通知し、また使用している DDC のレベルに応じて、そのディスプレイ機能に関する追加情報を知らせることができます。

DDC2B は PC プロトコルに基づく二方向性のデータチャンネルです。ホストは DDC2B チャンネルを介して EDID 情報を要求することができます。

このモニターは、ビデオ入力信号がない場合、非機能として表示されます。このモニターを適切に操作するためには、ビデオ入力信号がなければなりません。

このモニターはビデオエレクトロニクス規格協会(VESA)および米環境保護極(EPA)およびスウェーデン労働者同盟(NUTEK)によって設定された電源管理規格に適合しています。この機能は、ビデオ入力信号がないとき、消費電力を抑えることによって、電気エネルギーを保存するために設計されています。ビデオ入力信号がない場合、このモニターは、タイムアウト期間に従って、オフモードに自動的に切り替わります。これにより、モニターの内部消費電力が抑えられます。ビデオ入力信号を復元した後、全出力が復元され、ディスプレイは自動的に再描画されます。概観は [スクリーンセーバー] 機能に似ていますが、ディスプレイが完全にオフになる点が異なっています。ディスプレイはキーボード上のキーを押すことによって、またはマウスをクリックすることによって復元されます。

技術サポート (FAQ)

| こんなとき | 点検と対策 |
|---|--|
| Power LED が点灯しない | <ul style="list-style-type: none"> *電源スイッチがオンの位置にあるかどうかチェックします *電源コードは接続されていますか |
| プラグアンドプレイが有効にならない | <ul style="list-style-type: none"> *PC システムがプラグアンドプレイ互換かどうかをチェックします *ビデオカードがプラグアンドプレイ互換であるかどうかチェックします *ビデオケーブルの D-15 プラグピンが曲がっていないかチェックします |
| 画像がぼやける | <ul style="list-style-type: none"> *コントラストと輝度コントロールを調整します または解像度を |
| 画像が揺れる、または波形パターンが画像に表示される | <ul style="list-style-type: none"> *電波障害を引き起こしている電気装置をモニタから離します |
| 電源 LED はオン (ライトブルー) になっているが、ビデオまたは画像が表示されない | <ul style="list-style-type: none"> *コンピュータの電源スイッチはオンの位置になっていますか *コンピュータのビデオカードはそのスロットにきちんと収まっていますか *モニタのビデオケーブルがコンピュータに正しく接続されているかどうか確認します *モニタのビデオケーブルのモニタを検査して、ピンが曲がっていないかどうか確認します *CAPS LOCK LED を観察しながらキーボードの CAPS LOCK キーを叩いて、コンピュータが機能を果たしているかどうか確認します。CAPS LOCK キーを叩くと、LED はオンまたはオフになります |
| 三原色 (赤、緑、青) のどれかが欠けている | <ul style="list-style-type: none"> *モニタのビデオケーブルのモニタを検査して、ピンが曲がっていないか確認します |

| | |
|----------------------------------|--|
| 画面の画像がセンタリングされない、または適切な比率で表示されない | *画素周波数 (CLOCK) と焦点を調整するか、Auto キー (自動キー) を押します |
| 画像に色欠けがある (白が白に見えない) | *三原色を調整し、色温度を選択します |
| 画面が水平または垂直に乱れる | *Windows 終了画面を使用し、CLOCK または FOCUS を調整するか、Auto キー (自動キー) を実行します |

CLOCK (画素周波数) は、一回の水平スウィープによって走査される画素数をコントロールします。周波数が正しくないと、画面に垂直の線が現れ、画像は正しい幅で表示されません。

FOCUS は画素クロック信号のフェーズを調整します。フェーズ調整が正しくないと、明るい画像では、画像が水平に乱れます。

FOCUS および CLOCK を調整する場合は、「ドットパターン」または Windows 終了画面パターンを使用してください。

エラーメッセージおよび考えられる解決法

ケーブルが接続されていません：

1. 信号ケーブルが正しく接続されているかチェックします。接続がゆるい場合、コネクタのネジをしっかりと締めてください。
2. 信号ケーブルの接続ピンが破損していないかチェックします。

入力がサポートされていません：

お使いのコンピュータが不適切なディスプレイモードに設定されています。コンピュータを次の表に表示されているディスプレイモードに設定してください (p18 をご覧ください)。

付録

仕様

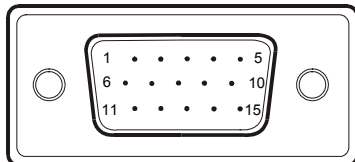
| | | |
|------------------|----------|---|
| LCD パネル | 駆動システム | TFT カラー LCD |
| | サイズ | 43.2cm(17.0") |
| | ピクセルピッチ | 0.264mm(H) × 0.264mm(V) |
| | 輝度 | 400cd/m ² (Typ.) |
| | コントラスト | 500:1(Typ.) |
| | 可視角度 | 140° (H) 130° (V) |
| | レスポンスタイム | 8ms |
| 入力 | ビデオ | R,G,B アナログインターフェイス デジタル (デュアル入力モデル) |
| | H-周波数 | 30kHz – 80kHz |
| | V-周波数 | 55-75Hz |
| 表示カラー | | 16 万 2 千色 |
| ドットクロック | | 135MHz |
| 最高解像度 | | 1280 × 1024 @75Hz |
| プラグ & プレイ | | VESA DDC2B™ |
| EPA ENERGY STAR® | オンモード | ≤45W |
| | オフモード | ≤2W |
| 入力コネクタ | | 15-ピン D-サブ |
| | | DVI 24 ピン (デュアル入力モデル) |
| 入力ビデオ信号 | | アナログ:0.7Vp-p(標準), 75 OHM, 陽極 |
| | | デジタル信号 (デュアル入力モデル) |
| 最大画面サイズ | | 水平方向 : 337.92mm 垂直方向 : 270.34mm |
| 電源 | | 100~264VAC, 47~63Hz |
| 設置環境 | | 稼働温度: 0° to 40°C 保存用温度: -20° to 65°C 稼働湿度: 10% to 85% |
| 寸法 | | 379 (W) x 400 (H) x 163.6 (D)mm |
| 重量 (N. W.) | | 4.8kg 本体 (正量) |

| | | |
|-----------|------|---|
| 外部コントロール: | スイッチ | <ul style="list-style-type: none"> ● 自動調整キー ● </音量 ● >/音量 ● 電源ボタン ● メニュー/選択 |
| | 機能 | <ul style="list-style-type: none"> ● コントラスト ● 輝度 ● フェーズ ● クロック ● 水平位置 ● 垂直位置 ● 暖色 ● 寒色 ● RGB 色温度 ● 言語 ● OSD 位置タイムアウト ● 自動調整(アナログモデルのみ) ● 入力信号の選択 (デュアルモデルのみ) ● ディスプレイ情報 ● リコール ● 終了 |
| 消費電力(最大) | | 45 W |
| オーディオ入力 | | 定格出力 1.5W rms (チャンネルごとに) |
| 法規制の順守 | | CUL, FCC, VCCI, CCC, MPR II, CE, TÜV/GS, TCO'99, UL, ISO13406-2 |

工場プリセットのタイミング表

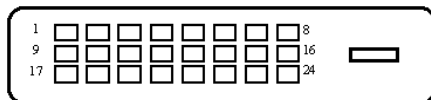
| 视频模式 | | 分辨率 | 行频(kHz) | 场频(Hz) |
|-------------|------|-------------|---------|--------|
| VESA | VGA | 640 × 480 | 31.469 | 59.940 |
| | | 640 × 480 | 37.500 | 75.000 |
| | SVGA | 800 × 600 | 37.879 | 60.317 |
| | | 800 × 600 | 46.875 | 75.000 |
| | XGA | 1024 × 768 | 48.363 | 60.004 |
| | | 1024 × 768 | 56.476 | 70.069 |
| | | 1024 × 768 | 60.023 | 75.029 |
| | SXGA | 1280 × 1024 | 64.000 | 60.000 |
| 1280 × 1024 | | 80.000 | 75.000 | |
| IBM | DOS | 720 × 400 | 31.469 | 70.087 |
| MAC | XGA | 1024 × 768 | 48.780 | 60.001 |
| | | 1024 × 768 | 60.241 | 74.927 |

コネクタピンの割り当て



15 – ピンカラーディスプレイの信号ケーブル

| ピン番号 | 説明 | ピン番号 | 説明 |
|------|--------|------|--------------|
| 1. | 赤 | 9. | +5V |
| 2. | 緑 | 10. | 論理アース |
| 3. | 青 | 11. | モニタアース |
| 4. | モニタアース | 12. | DDC-シリアルデータ |
| 5. | DDC-復帰 | 13. | H-同期 |
| 6. | R-アース | 14. | V-同期 |
| 7. | G-アース | 15. | DDC-シリアルクロック |
| 8. | B-アース | | |



24 – ピンカラーディスプレイの信号ケーブル

| ピン番号 | 説明 | ピン番号 | 説明 |
|------|-------------------|------|-------------------|
| 1. | TMDS データ 2- | 13. | TMDS データ 3+ |
| 2. | TMDS データ 2+ | 14. | +5V 電源 |
| 3. | TMDS データ 2/4 シールド | 15. | アース(+5V 用) |
| 4. | TMDS データ 4- | 16. | ホットプラグの検出 |
| 5. | TMDS データ 4+ | 17. | TMDS データ 0- |
| 6. | DDC クロック | 18. | TMDS データ 0+ |
| 7. | DDC データ | 19. | TMDS データ 0/5 シールド |
| 8. | アナログ垂直同期 | 20. | TMDS データ 5- |
| 9. | TMDS データ 1- | 21. | TMDS データ 5+ |
| 10. | TMDS データ 1+ | 22. | TMDS クロックシールド |
| 11. | TMDS データ 1/3 シールド | 23. | TMDS クロック + |
| 12. | TMDS データ 3- | 24. | TMDS クロック - |